



2021年4月28日

各位

会社名 日本電気硝子株式会社
代表者名 社長 松本 元春
コード番号 5214 東証第一部
問合せ先 取締役常務執行役員 津田 幸一
TEL 077 (537) 1700

2021年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年4月1日に公表しました2021年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正 (2021年1月1日～6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 135,000	百万円 11,000	百万円 15,000	百万円 8,000	円 銭 82.78
今回修正予想 (B)	140,000	15,000	19,000	11,000	113.82
増減額 (B-A)	5,000	4,000	4,000	3,000	—
増減率 (%)	3.7	36.4	26.7	37.5	—
(ご参考) 前第2四半期連結累計期間 実績(2020年12月期)	115,381	7,767	6,888	6,824	70.62

2. 2021年12月期通期連結業績予想の修正 (2021年1月1日～12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 270,000	百万円 22,000	百万円 26,000	百万円 16,000	円 銭 165.56
今回修正予想 (B)	280,000	28,000	32,000	21,000	217.30
増減額 (B-A)	10,000	6,000	6,000	5,000	—
増減率 (%)	3.7	27.3	23.1	31.3	—
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	242,886	17,660	19,109	15,252	157.84

3. 修正の理由

第2四半期連結累計期間については、ディスプレイや自動車関連市場における旺盛な需要を背景に、主力の薄型パネルディスプレイ（FPD）用ガラスやガラスファイバを中心に出荷は堅調に推移するものと予想しています。損益面では、売上高の増加に加えて、FPD用ガラスについて、計画を上回るスピードで国内事業場の停電により停止していた生産設備を順次立ち上げることができ、生産性の向上が着実に進んでいること等が、営業利益を想定以上に押し上げる見込みです。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、営業利益の増加に伴い上振れする見込みです。

通期については、第3四半期（2021年7月1日～9月30日）以降も、主力のFPD用ガラスやガラスファイバを中心に業績は堅調に推移するものと予想しています。

以上を踏まえ、第2四半期連結累計期間及び通期の業績は、売上高、利益ともに前回予想を上回るものと見込んでいます。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれらの予想値とは異なる可能性があります。

以 上